
ジオ・ラボ ネットワーク通信 2015.12 第47号

全国地質調査業協会連合会 ジオ・ラボ ネットワーク事務局：関東土質試験協同組合

- ・北海道土質試験協同組合
 - ・協同組合土質屋北陸
 - ・関東土質試験協同組合
 - ・中部土質試験協同組合
 - ・協同組合関西地盤環境研究センター
 - ・協同組合岡山県土質試験センター
 - ・協同組合島根県土質技術研究センター
 - ・協同組合広島県土質試験センター
 - ・宮崎県地質調査業協同組合
- なお、記事に関するお問い合わせは各組合へお願いいたします。

ジオ・ラボ ネットワーク事務局からのお知らせ

※ジオ・ラボ ネットワーク経営懇談会臨時会開催報告

*開催日時：平成27年10月30日（金） 13時～16時 *開催場所：京王プラザホテル札幌

*出席者：全地連2名 各組合出席者15名 合計17名

- *議題：1 各協同組合の平成27年度上半期の運営状況について
2 ジオ・ラボ ネットワークからの連絡事項について
3 全地連からの連絡事項について

北海道土質試験協同組合

mail to : hsrc@src.or.jp

★創立50周年記念式典・祝賀会を開催

10月30日、京王プラザホテル札幌において組合関係者と来賓者合わせて112名が出席し、創立50周年記念式典・祝賀会を催しました。当組合は次の50年に向けて新たなスタートを切りました。皆様方の多様なニーズにお応えし、信頼される北海道の『土質試験機関』として今後も努力いたします。これまで同様ご支援よろしくお願いたします。

★第3回地盤工学会北海道支部主催のセミナー「土を考える」を開催

11月5日、当組合において20名が参加し、『土の締固めと品質管理』をテーマに日本工営㈱の橋本和明氏から「土の締固めと品質管理の概要」、当組合山内昇部長から「室内土質試験実施における留意点」、中川範彦次長から「品質管理試験の実施方法」に関する話題提供を基に勉強会形式のセミナーが開催されました。また、セミナー終了後に当組合試験設備の見学会も行われました。

★北海道開発局河川技術講習会の現地講習を当組合で開催

11月20日、北海道開発局主催の河川技術講習会2日目の現地講習として、当組合試験室において土質試験の実習が開催されました。実習は、開発局監督員44名が4班に分かれて物理、力学、安定化試験および原位置試験を体験し、土質試験に対する理解を深める機会となりました。

協同組合土質屋北陸

mail to : info@doshitsuya.or.jp

昭和58年に建てられた社屋も30年が経過した平成24年から改修を続け、今年の外壁改修でようやく一区切りがつかます。改修をしてみると、断熱技術の進歩がすばらしいですね。改修できたのもこの3年間売上も上がった時期で、理事長はじめ役員の皆様のご判断と組合員様のご協力の賜物と感謝いたします。

今年の改修の外壁ですが、正面の色は「橙・オレンジ」として、サイドは「群青」としました。

「橙・オレンジ」を選んだ理由は、赤色と黄色の中間に位置する色で、赤色と黄色のイメージの良い所だけを取ってきた色の中でのビタミン的な役割になっていること。喜びや幸福感、親しみ、元気、明るといったポジティブな印象を強く受ける色であるということで選びました。

「群青」は、北陸新幹線の色を決めるときに兼六園に隣接する「成巽閣」の群青の間を参考にしたというので、北陸新幹線イヤーの今年、この記憶に残すために「群青」に決めました。



<完成した社屋>

ジオ・ラボ ネットワーク通信 2015.12 第47号

全国地質調査業協会連合会 ジオ・ラボ ネットワーク事務局：関東土質試験協同組合

- ・北海道土質試験協同組合
 - ・協同組合土質屋北陸
 - ・関東土質試験協同組合
 - ・中部土質試験協同組合
 - ・協同組合関西地盤環境研究センター
 - ・協同組合岡山県土質試験センター
 - ・協同組合島根県土質技術研究センター
 - ・協同組合広島県土質試験センター
 - ・宮崎県地質調査業協同組合
- なお、記事に関するお問い合わせは各組合へお願いいたします。

関東土質試験協同組合

mail to : uketsuke@kstc.or.jp

《 蒸留水製造装置・恒温恒湿室エアコンシステム更新しました 》

蒸留水製造装置、恒温恒湿室のエアコンは既存設備の老朽化により、今年度の設備投資計画で新規導入いたしました。



▲蒸留水製造装置



▲恒温恒湿室エアコン

蒸留水は人が水なしでは生きていけないと同様に、よりよい土質試験、特に粒度沈降試験、土粒子の密度試験等には必要不可欠なものです。今回導入したのはアドバンテック東洋(株)の製品です。恒温恒湿室のエアコンは、土質試験実施時の適切な水温を保つため等年間を通してフル稼働している働き者です。

近年は様々な全自動試験機、またそれを補助する設備、システムがあるよい環境で土質試験が行われております。試験技術者も設備に負けぬよう研鑽を積むことが大切だと実感します。

(関東土質試験協同組合 木本 仁)

中部土質試験協同組合

mail to : info@geolaborchubu.com

(一社)日本建築構造技術者協会(JSCA) 中部支部 による地盤材料試験の見学会が実施されました。

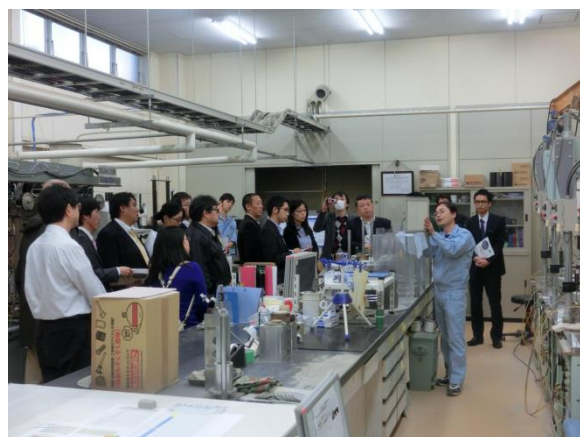
JSCA 中部支部(日建設計：二宮 利治支部長)-地盤系部会 (主査：大林組 河野 秀生 氏)では、平成27年11月20日(金) 14:15~17:50に、40名の参加者によって、地盤材料試験の見学会を当組合で実施しました。

内容は、事前講習会として、全地連作成による「建築技術者のための地盤調査ー地盤材料試験編」で、全体を把握した後に、実際の地盤材料試験を見学しました。ここでは、当組合職員が工夫をした解説パネルを用いて、手際よく見学会を行いました。

その後、濃尾地盤における成立・工学的特性・濃尾地盤における地盤災害などの解説を行いました。解説の最後には、横浜のマンション問題に関連して、地盤調査の留意点や地盤定数の見方などの解説も実施致しました。これらによって、建築分野における地盤調査の重要性認識の一助に貢献できたものと思われます。(配付資料：ジオ・ラボ中部パンフ+パンフ-地盤材料試験を有効に活用するために)



(ビデオ講習：全体を概要把握)



(力学試験講習)

(文責：坪田邦治)

- ・北海道土質試験協同組合
 - ・協同組合土質屋北陸
 - ・関東土質試験協同組合
 - ・中部土質試験協同組合
 - ・協同組合関西地盤環境研究センター
 - ・協同組合岡山県土質試験センター
 - ・協同組合島根県土質技術研究センター
 - ・協同組合広島県土質試験センター
 - ・宮崎県地質調査業協同組合
- なお、記事に関するお問い合わせは各組合へお願いいたします。

協同組合関西地盤環境研究センター

mail to : info@ks-dositu.or.jp

・見学会、講演会の開催報告

早いもので今年ものこりわずかとなりました。皆様有り難うございました。

今年下期に開催しました見学会並びに講演会について報告致します。

9月30日に(一社)関西地質調査業協会、(一社)日本応用地質学会関西支部、(協)関西地盤環境研究センター3団体共催の見学会を実施致しました。今回のコースは新名神高速道路箕面トンネル東工事を見学し、その後明石海峽大橋の主塔の見学というコースでした。今回の見学会には20名の参加があり、スタッフを合わせると総勢26名になりました。今回は1日コースの見学会でしたが、皆さん満足して頂いたようでした。

又、12月16日には同じく3団体共催での技術講演会を開催致しました。「盛土に関する最近の動向一事例から性能評価まで」というテーマで、神戸大学大学院教授の澁谷 啓先生、大阪大学大学院教授の常田 賢一先生、西日本旅客鉄道(株)の近藤 政弘様にご講演頂きました。参加者も総勢105名となり、大盛況でした。

今後もこのような、見学会・講演会等、皆様のニーズにあったものを開催して行きたいと考えておりますので、ご参加をお待ちしております。

協同組合広島県土質試験センター

mail to : office@hiroshima-soil.jp

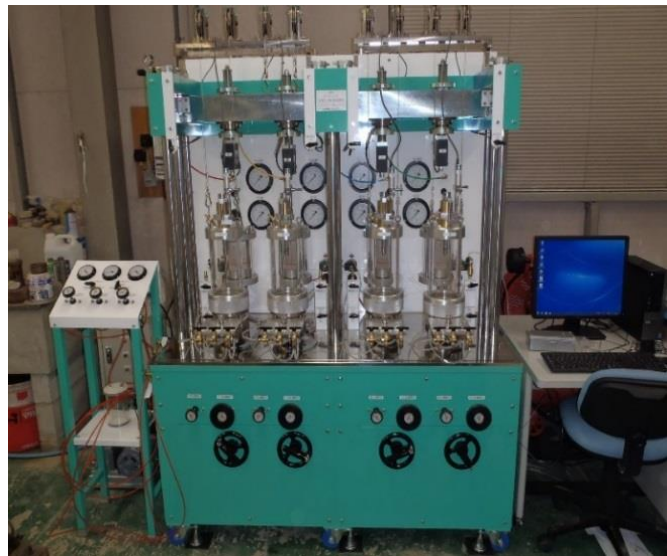
・新型の三軸圧縮試験機を導入しました。

去る11月10日に(株)マルイ製4連式独立載荷型三軸圧縮試験機を新たに導入しました。これまでは1台の試験機をフル稼働で試験を行ってききましたが、使用年数が30年以上経ち、断続的に修理を行う回数が増えたことや繁忙期に試験が混雑するなど問題もあり今回の導入に踏み切りました。

新しい試験機は4連同時の軸圧縮、また1連毎に別々の試験の設定・実施ができるなど現在使用している試験機に比べ効率的に試験が完了出来る事から、工期の短縮に繋がると期待しています。

他にも、試験機への供試体設置や試験終了後の後片付けの際は、試験機上部に吊上げ用のワイヤーが付いた空圧式の昇降装置が備わっているので、重い圧力室の設置・移動が楽に行うことができます。

現在、12月中旬からの本稼働を目指して試運転及び操作方法を習得している最中ですが、一日でも早く皆様のご期待に応えるよう職員一同努めて参ります。(文責：中原一貴)



(写真：新型三軸圧縮試験機)

(試験機の仕様表)

適用供試体寸法	φ50×100mm/φ70×140mm/φ75×150mm×4連
負荷容量	垂直負荷：Max 100kN(②25kN) セル圧：Max 0.98MPa 背圧：Max 0.30MPa
センサー	軸圧：30kN×4/変位：30mm×4 セル圧：1MPa×4/背圧：0.3MPa×4 間隙圧：1MPa×4/体積変化：300cc×4
載荷方式	垂直負荷：電気サーボモーター方式 セル圧・背圧：エアレギュレーター方式